

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

(平成30年度決算版)

入間市 水道事業

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

基本理念：安全で安心できる命の水をいつでも届けます。そして、ひと、まち、暮らしを支えます。

理想像：【安全】いつ飲んでも安全な水道

(入間市新水道ビジョン P.37～P.40)

目 標：誰もがいつでも、どこでも安心して飲める水道

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	平成30年度決算の内容	担当課
おいしさと安全にこだわった水の管理	水安全計画の策定	水道法による水質基準を遵守し、水質の向上に努め、水源から給水栓に至る水質管理を徹底します。	- 入間市水道水質検査計画に基づき、水質検査を実施し、結果はホームページに公表しました。 - 採水日 H30.4.9 37項目水道法水質基準に適合 - 採水日 H30.7.3 51項目水道法水質基準に適合 - 採水日 H30.10.2 37項目水道法水質基準に適合 - 採水日 H31.1.8 37項目水道法水質基準に適合 - 採水場所 鍵山浄水場、朝霧公園、さくら公園、西久保観世音堂、桂の里公園、新光中央公園	上下水道管理課
		平成30年度までに水安全計画を策定し、公表します。	平成30年2月に水安全計画を策定しました。安全管理上、支障が生じない範囲で、公開用の水安全計画（概要版）を作成し、平成31年3月1日にホームページに公表しました。	上下水道管理課
	流域関係者との連絡体制の構築	入間川流域利水者連絡会等関係団体と連携し、入間川の水環境を守ります。	- 入間川流域利水者連絡会（平成30年4月25日、7月25日、平成31年3月19日の3回開催：埼玉県土地水政策課） 主に渇水期の節水状況の確認及び協力依頼、有馬ダムの渇水対応の説明等。 - 荒川上流水利用者連絡会定例会（平成30年4月25日開催：荒川上流河川事務所）	上下水道管理課
		入間川流域の水質事故等に対し、迅速に対応できる体制を構築します。	- 平成30年度は鍵山浄水場上流域で取水に影響する水質事故は発生しませんでした。 - 県水の取水施設である、大久保浄水場でも、取水に影響する水質事故は発生しておりません。 - 水質事故発生時は埼玉県水環境課からFAX等で情報提供がされ、県関係部署や市環境課・他の水利団体と情報を共有できるように、連絡体制は整備されています。また、24時間体制で対応できるように、水質事故の情報は鍵山浄水場にも送付されます。 - 主な水質事故は、油や泡・変色等です。泡は渇水期等に家庭排水の比率が上がるため、比較的多く見られます。油膜は生物（バクテリア等）によるものと事故等による河川流入があります。	上下水道管理課
	環境に配慮した事業活動の推進	環境負荷の低減や環境に配慮した事業活動を継続して取り組みます。	- 温室効果ガス排出量の低減や、グリーン購入に取り組みます。 - 資料等を作成する場合は両面印刷や裏面再利用に心掛け、紙の使用量の削減に努めました。 紙の使用量（対前年度：619枚増加） H30年度：188,021枚 H29年度：187,402枚 - 鍵山浄水場の浄水過程で発生する汚泥はセメント原料として処分します。平成30年度の汚泥搬出処分量は、402.01tでした。 （搬出回数15回） - 入間市環境基本条例に基づき、省エネルギーの推進における水資源の損失防止対策として、老朽化した配水管の更新を継続的に行います。また、工事で発生した建設副産物の処分については法令に従い、適正に処分しました。	全課

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	平成30年度決算の内容	担当課
自己水と県水の安定確保	自己水割合の維持	鍵山浄水場の自己水確保率20%を維持します。 自己水確保率：20%を維持	平成30年度の計画配水量は、17,022,300 ^m （県水13,617,840 ^m 、自己水3,404,460 ^m ）で、実績配水量は16,571,580 ^m （県水13,542,450 ^m 、自己水3,029,130 ^m ）でした。 給水人口の減少や節水意識の向上、天候の影響などもあり、やや減少傾向となっており、県水と自己水の割合はそれぞれ81.72%、18.28%となりました。	上下水道管理課
蛇口までの水質管理の充実	貯水槽水道の適正管理	貯水槽の適正な管理をホームページ等で周知するとともに、貯水槽管理者へ適切な指導を行います。	ホームページで貯水槽の適正な管理について掲載し、窓口や電話等での問合せに対しても適切な指導を行いました。	上下水道給排水課
	給水装置の適正管理	給水装置の管理区分や維持管理についてホームページ等で周知を図ります。	ホームページで給水装置の管理区分や維持管理について掲載し、窓口や電話等でも説明を行いました。	上下水道給排水課 ・ 上下水道管理課
		市内の指定給水装置工事事業者へ指定給水装置工事事業者研修会への参加を促します。	上下水道給排水課窓口に指定給水装置工事事業者研修会のポスター掲示を行うとともに、来庁した指定工事店事業者に口頭で参加を促しました。	上下水道給排水課

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

理想像 : 【強靱】 災害に強い水道

(入間市新水道ビジョン P.41～P.45)

目 標 : 災害による被害を最小限にとどめ、迅速に復旧できる水道

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	平成30年度決算の内容	担当課
災害に強い水道施設の整備	施設の適正な維持管理	漏水調査を計画的に実施し、高い有効率の水準を維持します。 有効率：98%以上 有収率：96%以上	○平成30年度漏水調査 ・調査期間（業務委託期間） 平成30年6月21日～平成31年3月8日 ・調査地域 東金子、宮寺、二本木地区 ※管路の更新を行った区域は調査対象より除く ・6月21日から2月15日までの調査 調査戸数 7,469戸 漏水発見箇所 43箇所 ・平成30年度の有効率 97.35% ・平成30年度の有収率 94.82%	上下水道管理課
		消火栓や空気弁、水管橋等の点検を計画的に実施します。	○平成30年度消火栓点検 ・調査期間（業務委託期間） 平成30年6月21日～平成31年2月15日 ・調査地域 藤沢、西武地区 ・5月26日から2月1日までの調査 調査点検箇所 700箇所 指摘箇所 56箇所（修理箇所 5箇所） ○平成30年度空気弁保守点検 ・調査期間（業務委託期間） 平成30年10月中旬～平成31年3月8日 ・調査地域 東金子地区 ・12月28日から2月28日までの調査 調査点検箇所 33箇所 （橋りょう 12箇所、地下式 21箇所） 指摘箇所 11箇所（修理箇所 0箇所）	上下水道管理課
	計画的な施設の更新	施設整備計画に基づき計画的に施設の整備を実施します。	7ページ参照	上下水道整備課
		老朽管（硬質塩化ビニル管）の更新を優先的に実施します。	8ページ参照	上下水道整備課
	送水管の更新と管路の耐震化	「短期耐震化計画（老朽管布設替計画）」に基づき、送水管の更新と管路の耐震化を計画的に実施します。	8ページ参照	上下水道整備課
災害対応能力の向上	応急給水体制の充実	応急給水所の場所や水の備蓄の必要性について、上下水道トピックス、ホームページ等により周知を図ります。	平成30年度は実施していません。 令和元年度の上下水道トピックスに「応急給水所の場所」を掲載する予定です。	上下水道整備課
		応急給水器具を計画的に備蓄します。	災害備蓄用ペットボトル5,040本（備蓄合計22,080本）、非常用飲料水袋（6ℓ）1,000袋（備蓄合計6,600袋）を購入しました。	上下水道給排水課
		耐震性非常用貯水槽の設置について検討していきます。	平成30年度は実施していません。 「入間市公共施設マネジメント事業計画」の進捗に合わせ検討していきます。	上下水道整備課

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	平成30年度決算の内容	担当課
災害対応能力の向上	近隣水道事業者や民間事業者との災害時の連携の確保	災害時に必要な応急復旧資機材を優先的に確保していきます。	災害時に破損した配水管を早急に復旧できるよう、応急復旧資材の賃借契約を締結しました。	上下水道管理課
		近隣水道事業者との緊急連絡管の接続に向けて、協議を実施します。	平成30年度は実施していません。 令和元年度に協議を開始する予定です。	上下水道整備課
		近隣水道事業者や県等との応急給水体制の連携を強化します。	- 平成30年8月19日の入間市防災訓練に合わせて、上下水道部防災訓練を実施すると共に、所沢市、飯能市、狭山市との4市合同防災訓練を入間市の訓練会場にて実施しました。 - 平成30年11月1日の日本水道協会主催の情報伝達訓練に参加し、応急給水訓練の連携強化を図りました。	上下水道給排水課 ・ 上下水道整備課
		事業継続計画（BCP）を策定します。	平成31年3月に策定し、平成31年3月29日にホームページに公表しました。	上下水道整備課

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

理想像 : 【持続】 未来につながる信頼される水道

(入間市新水道ビジョン P.45～P.48)

目 標 : 安定した事業経営が可能な水道

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	平成30年度決算の内容	担当課
財政基盤の強化	中長期的な視点での経営戦略	投資計画・財政計画のバランスのとれた事業運営を行います。	9～12ページ参照	上下水道経営課
		水道料金の改定を検討していきます。	平成30年度の水道料金の決算額は24億1,932万8,892円です。新水道ビジョンでの見込額を約2,000万円上回っている状況です。 水道料金の改定については、新水道ビジョンの中で令和5（平成35）年度に見込んでいることから、引き続き給水収益の動向を注視し、必要に応じて、改定の検討を行っていきます。	上下水道経営課
		水道料金の適正な徴収に取り組めます。	・市外に転出した未納者216件の臨宅徴収を実施し、適正な徴収に取り組めました。	上下水道経営課
人員確保と人材育成	事業推進に向けた人員確保	事業推進に向けて、人員の確保に努めます。	・水道事業担当職員 対前年比 ±0人 H30年度：正規職員 31人 短時間勤務再任用職員 3人 パート職員 1人 計35人 水道管更新事業の増加や給水申請に対する完了検査体制の強化等を考慮し、定数管理を担当する部署に職員の増員を要望しました。	全課
	職員の意識改革と計画的な人材育成	外部の講習会等に参加して水道事業に関する知識の習得に努めます。	・日本水道協会等が主催する研修会や講習会21件に延23人が参加し上水道に関する知識の習得を図りました。 ・埼玉県西部地区水道研究会（事務・給水装置）に参加し他市との意見交換等を行いました。 今後も講習会等に参加し知識の習得や他市等との情報共有を図ります。	全課
		OJTの実施や技術情報の共有を図り、計画的な人材育成に取り組めます。	日々の業務を通じてOJTを実践し技術や知識の継承を図りました。また、業務において検討事項があった場合には担当内で協議し、記録を残すことにより情報共有を行い意思統一を図りました。今後もOJTを実践し技術や知識の継承を図り、人材育成に取り組んでいきます。	全課

基本施策	主な施策	具体的な施策・指標	平成30年度決算の内容	担当課
サービス向上・情報提供	使用者の利便性の向上	入間市水道お客様センターの周知を図ります。	「広報いるま」にてお客様センターに関する情報を掲載し周知を図りました。 ○掲載内容 ・4月1日号 水道お客様センターをご利用ください ・6月15日号 漏水にご注意を 平成29年度に開設したお客様センターのホームページを定期的に更新しました。	上下水道経営課
	使用者ニーズの把握と情報公開の推進	広報紙やホームページ等により、水道事業に関する情報を市民の目線でわかりやすく提供します。	・平成30年6月1日から7日に水道週間を実施しました。2日の鍵山浄水場の施設公開日には23名の来場がありました。 ・平成30年7月28日に親子ダム施設等見学会を予定していましたが、荒天のため中止しました。 ・平成30年10月3日と平成31年3月20日に上下水道審議会を開催しました。 ・平成31年2月14日に平成29年度決算状況を、同月15日に経営比較分析表をホームページに公開しました。 ・FM茶笛にて毎週土曜日20秒の水道に関するCMを3回放送しています。CM放送を通して、水の備蓄の必要性や漏水への注意喚起を行いました。また、上下水道トピックスを発行し水道事業の情報を提供しています。30年度は49,300部を作成し、12月15日号の広報いるまと共に各戸に配布しました。 今後も広報紙等を通して水道事業に関する情報を提供していきます。	上下水道経営課 ・ 上下水道整備課

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

投資計画

(入間市新水道ビジョン P.53～P.54)

1) 施設・設備

施設・設備の整備は、既に法定耐用年数を超えて日常の点検により延命化を図ってきた設備を優先して実施していきます。

鍵山浄水場、豊岡配水場、扇町屋配水場、東金子配水場、藤沢配水場、入間台加圧場は、設備の更新を行います。

また、西武第1配水池は、耐震性が低い施設であるため、配水池及び施設の更新を行います。

なお、更新を計画している設備については、今後も適切な維持管理を実施して更なる延命化が可能であれば、更新時期を先送りにして他に必要な事業を実施していきます。

■施設・設備の更新費用

[担当課：上下水道整備課・上下水道管理課]

(単位：億円)

項目		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
鍵山浄水場	計画値	0.08	-	0.36	1.38	0.55	0.55	-	-	-	-	2.92
	実績値	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊岡配水場	計画値	-	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18
	実績値	-	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-
扇町屋配水場	計画値	-	-	0.15	0.22	7.78	3.69	-	-	-	-	11.84
	実績値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東金子配水場	計画値	-	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	0.15
	実績値	-	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
藤沢配水場	計画値	-	-	-	-	0.09	1.01	1.64	0.60	-	-	3.34
	実績値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寺竹配水場	計画値	5.51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.51
	実績値	9.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	3.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入間台加圧場	計画値	-	-	-	0.18	1.79	0.90	-	-	-	-	2.87
	実績値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西武第1配水池	計画値	-	-	0.08	1.67	0.62	0.62	-	-	-	-	2.99
	実績値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緊急工事費	計画値	0.11	0.22	0.22	-	-	-	-	-	-	-	0.55
	実績値	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	-0.11	-0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更新費用 計	計画値	5.70	0.55	0.81	3.45	10.83	6.77	1.64	0.60	0.00	0.00	30.35
	実績値	9.13	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差異	3.43	-0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成30年度決算における進捗及び評価

豊岡配水場及び東金子配水場の県営水道流量計が検定満期を迎えたことから交換を行ないました。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

投資計画

2) 管路

管路の整備は、平成28年度に策定した「短期耐震化計画（老朽管布設替計画）」に基づき、年間の更新延長5,500m程度を目標に、老朽化した送水管の更新や非耐震管路の耐震化を優先して実施していきます。

また、更新する管路は、重要度などから優先事業を区分し、既存管路の布設年度等から各々に優先順位を設定します。そうすることで、今後増大すると予想される更新需要に備えて確実に管路の更新・耐震化を実施していきます。

■ 管路の更新延長

[担当課：上下水道整備課]

(単位：m)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	3,549	5,598	6,525	5,445	5,796	5,615	5,602	5,664	5,523	5,624	54,941
実績値	4,295	6,816	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	746	1,218	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成30年度決算における進捗及び評価

鍵山東金子線送水管（第四工区）243m、入間台団地内配水管（第一工区）1,510m、一般市道や区画整理地内に布設されている配水管5,063mの更新・耐震化を実施いたしました。

優先順位を組替えて更新工事を行ったことや、平成29年度からの繰越工事により計画値を上回りました。

■ 管路の更新費用

[担当課：上下水道整備課]

(単位：億円)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	6.72	9.18	9.25	7.45	7.38	6.92	7.17	6.88	8.46	8.01	77.42
実績値	4.83	7.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	-1.89	-1.92	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成30年度決算における進捗及び評価

鍵山東金子線送水管（第四工区）及び平成29・30年度の継続事業で入間ヶ丘団地内配水管（第一工区）の更新工事と、一般市道や区画整理地内に布設される配水管の更新工事21件を実施いたしました。

繰越工事など工事の組替えを行いました。低入札価格調査制度を適用する工事があったことから事業費内で工事を実施することができました。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

財政計画

(入間市新水道ビジョン P.63～P.64)

○ 収支計画

[担当課：上下水道経営課]

■ 収益的収入

(税抜き表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	29.09	29.04	28.79	28.51	28.29	27.99	30.07	29.68	29.37	29.01	289.84
実績値	29.41	29.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	+0.32	+0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 収益的支出

(税抜き表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	25.57	25.03	25.23	26.88	28.03	26.42	26.41	26.27	26.21	26.06	262.11
実績値	24.34	25.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	-1.23	-0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 当期純利益

(税抜き表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	3.52	4.01	3.56	1.62	0.26	1.58	3.66	3.42	3.16	2.95	27.74
実績値	5.07	4.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	+1.55	+0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 資本的収入

(税込み表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	1.42	5.06	7.15	7.15	7.14	5.33	1.18	1.18	1.17	1.16	37.94
実績値	1.29	1.51	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	-0.13	-3.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 資本的支出

(税込み表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	15.75	12.72	13.16	14.19	21.69	17.33	12.60	11.01	12.01	11.19	141.65
実績値	17.20	10.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	+1.45	-2.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 資本的収支不足額（補填額）

(税込み表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	-14.33	-7.67	-6.00	-7.04	-14.55	-12.00	-11.41	-9.83	-10.84	-10.02	-103.69
実績値	-15.90	-8.65	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	-1.57	-0.98	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成30年度決算における進捗及び評価

- ・収益的収入は、給水収益が計画値を0.2億円上回ったことなどにより、0.13億円上回っています。
- ・収益的支出は、計画値との差が0.01億円であり、ほぼ計画値どおりとなっています。
- ・その結果、損益は計画値4.01億円より0.14億円多い、4.15億円となりました。
- ・平成30年度は、経営目標である「損益黒字の確保」を達成しました。
- ・資本的収入は、企業債の借り入れを行わなかったことにより、資本的収入の計画値5.06億円より3.55億円下回りました。
- ・資本的支出は、管路の工事請負費・委託料が計画値を1.91億円下回ったことなどにより、資本的支出の計画値12.72億円を2.57億円下回りました。
- ・その結果、平成30年度の資本的収支不足額（補填額）は、計画値を0.98億円上回る8.65億円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、建設改良積立金及び過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

経営目標

① 損益黒字の確保

基本方針 損益黒字を確保します。

■ 損益

[担当課：上下水道経営課]

(税抜き表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	3.52	4.01	3.56	1.62	0.26	1.58	3.66	3.42	3.16	2.95	27.74
実績値	5.07	4.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	+1.55	+0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成30年度決算における進捗及び評価

収益的収入が計画値を0.13億円上回り、収益的支出が計画値を0.01億円下回った結果、計画値より0.14億円多い、4.15億円の純利益を計上することができました。経営目標である「損益黒字の確保」を達成しています。

② 安定的な自己資金残高の確保

基本方針 日常の資金繰りと災害時に備えて内部留保資金を15億円以上確保します。

■ 資金（年度末残高）

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	15.34	17.98	22.06	23.47	17.28	15.02	15.04	16.35	16.63	17.56	-
実績値	30.80	31.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	+15.46	+13.97	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成30年度決算における進捗及び評価

平成30年度決算における内部留保資金の額は31.95億円となり、計画値の17.98億円を約14億円上回りました。

平成29年度決算より2.64億円増加する見込みに対し、1.15億円の増加にとどまった理由としては、計画値では3.9億円を予定していた企業債の借入れを行わなかったことが挙げられます。

経営目標である「内部留保資金を15億円以上確保」については、目標の15億円を確保しております。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

経営目標

③ 給水収益に対する企業債残高の割合を一定限度内に抑制

基本方針 令和8年度の「給水収益に対する企業債残高の割合」は150%以下とします。

■企業債発行額

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	0.00	3.90	6.00	6.00	6.00	4.20	0.00	0.00	0.00	0.00	26.10
実績値	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	0.00	-3.90	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■企業債償還金

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	2.37	1.86	1.97	2.15	2.33	2.50	2.65	2.40	2.41	2.03	22.67
実績値	2.37	1.86	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■企業債残高

[担当課：上下水道経営課]

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	21.11	23.15	27.18	31.03	34.70	36.41	33.76	31.35	28.95	26.91	-
実績値	21.11	19.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	0.00	-3.90	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■給水収益に対する企業債残高の割合

[担当課：上下水道経営課]

(単位：%)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	87.2	96.5	114.4	132.1	149.0	157.9	134.7	126.8	118.3	111.2	-
実績値	86.6	79.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	-0.6	-16.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成30年度決算における進捗及び評価

平成30年度においては、当初予算積算の段階で、計画する事業を実施しても内部留保資金の額が新水道ビジョン以上確保できる見込みであったことから、企業債の借り入れを行いませんでした。結果として企業債残高については、企業債発行額の計画値（3.90億円）の分だけ、実績値は少なくなっています。なお、企業債償還金については、これまでの借り入れに対する償還のため、計画値どおりの実績値となっています。

平成30年度は、経営目標である「給水収益に対する企業債残高の割合は150%以下」を大きく下回った割合で達成しています。

入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート

経営目標

④ 適正な料金収入の確保

基本方針 「料金回収率」は１００％以上を維持します。

■給水収益

[担当課：上下水道経営課]

(税抜き表示)

(単位：億円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画値	24.20	23.99	23.76	23.49	23.28	23.06	25.07	24.74	24.48	24.21	240.28
実績値	24.39	24.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	0.19	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■供給単価

[担当課：上下水道経営課]

(単位：円/㎡)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	155.30	155.20	154.60	154.60	154.60	154.60	169.20	169.20	169.20	169.20	-
実績値	154.40	153.97	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	-0.90	-1.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■給水原価

[担当課：上下水道経営課]

(単位：円/㎡)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	143.68	141.44	143.63	145.83	151.40	156.25	157.65	159.02	160.60	161.85	-
実績値	133.62	138.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	-10.06	-3.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■料金回収率

[担当課：上下水道経営課]

(単位：%)

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画値	108.10	109.70	107.60	106.00	102.10	98.90	107.30	106.40	105.40	104.50	-
実績値	115.55	111.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差異	+7.45	+1.59	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成30年度決算における進捗及び評価

料金回収率は、水を「供給するための経費」が水を「売り上げた収益」で賄えているかを表しています。１００％以上を維持するのは、給水収益が適正な水準にあり、経費を全て賄えている経営状況ということです。
「供給単価」は水を１㎡売り上げたときの収益であり、「給水原価」は水を１㎡供給するための経費を表します。
平成３０年度決算における「供給単価」が１５３．９７円、「給水原価」が１３８．３５円であり、「供給単価」が「給水原価」を上回っているため、この比率は１００％を超えており、目標をクリアしています。